

性暴力を許さない女の会・公開講座
ポルノ被害と性暴力を考える会・第5回ポルノ被害と女性子どもの人権シンポ

「館長、

その“芸術”は

性暴力です！」

東京・森美術館問題を考える

芸術は自由だ！

何を
やっても？

ARTIST



2012年、東京の六本木ヒルズ・森美術館で会田誠展開催。四肢切断された少女が微笑む姿を描いた暴力的ポルノに市民から抗議の声が。館長は、美術館の社会的使命は「作品」について様々な議論を巻き起こすことだと主張。芸術だと言えば、どんなに人の尊厳を脅かしてもいいの。性暴力は芸術の顔を持てば、性暴力でなくなるのか。隠されている被害は何か。ともに考えましょう。

シンポジスト

中里見博 (徳島大学教員)

宮本節子 (フリーソーシャルワーカー)

岡野八代 (同志社大学教員)

森美術館館長招待中

日時 2014年3月16日

13時30分～16時

場所 ドーンセンター・大会議室2
(大阪府男女共同参画・青少年センター)

参加費 1000円



お問い合わせ 性暴力を許さない女の会

電話 06-6322-2313 (毎週火曜日 夜7～9時のみ)